

全国助産所分娩基本データ 収集システム2022年 集計結果報告

今村理恵子

日本助産師会助産所部会長

I. はじめに

2013年4月より、全国助産所分娩基本データ収集システム（以下、ITシステム）が開始されました。2020年では項目を絞り、新ITシステムとなり、会員の皆様に記入されやすいよう改良されました。昨年は新システムになって初めての報告をさせていただきました。本稿では、2022年分を報告いたします。データ分析期間のITの利用者は、本会所属の助産所の74.8%（2023年12月現在）でした。

II. 集計方法

2022年1月1日～12月31日に助産所の管理下で分娩され、ITシステムに登録されたデータ3,215件のうち、データ欠損のない3,163件の集計結果となります。

III. 集計結果

1. 妊産婦の背景

分娩歴は、初産婦678人（21.4%）、経産婦2,485人（78.6%）でした。1回経産婦1,228人（38.8%）で最も多く、次いで2回経産婦が811人（25.6%）、頻産婦とされる5回以上の経産婦が44人（1.4%）で、昨年とほぼ同様の分布でした（表1）。

年代別で見ると、初産婦は20代が最も多く51.3%で、次いで30代が45.1%でした。経産婦は30代が最

表1 分娩回数

経産回数	件数	%
0回	678	21.4%
1回	1228	38.8%
2回	811	25.6%
3回	314	9.9%
4回	88	2.8%
5回以上	44	1.4%
合計	3163	100.0%

表2 分娩時の母の年齢

初産婦年齢	人数	%	経産婦年齢	人数	%
～19歳	13	1.9%	～19歳	5	0.2%
20～24歳	84	12.4%	20～24歳	98	3.9%
25～29歳	264	38.9%	25～29歳	409	16.5%
30～34歳	209	30.8%	30～34歳	943	37.9%
35～39歳	97	14.3%	35～39歳	855	34.4%
40歳～	11	1.6%	40歳～	175	7.0%
合計	678	100.0%	合計	2485	100.0%
35歳未満	570	84.1%	35歳未満	1455	58.6%

初産婦	年齢	標準偏差	経産婦	年齢	標準偏差
平均	29.4	4.84	平均	33.2	4.62

も多く72.3%、次いで20代が20.4%でした。

初産婦の平均年齢は29.4歳（±4.84）、経産婦は33.2歳（±4.62）でした。35歳未満は、初産婦84.1%、経産婦58.6%でした（表2）。

2. 妊娠中の異常が認められた件数について

妊娠中に異常が認められたのは、初産婦、経産婦ともに全体の2.2%でした。その内訳はGBS陽性が4割を占め、母体合併症と貧血併せて1割、その他の5割は選択肢外となっております。

3. 分娩期について

分娩場所については助産所87.0%、自宅10.4%、オープンシステム2.2%でした。

分娩所要時間の平均は初産婦で13時間4分、うち30時間以上を要したのが5.5%でした。経産婦は平均5時間58分で、うち15時間以上を要したのが2.1%でした。分娩時の妊娠週数は昨年同様39週が最も多く38.35%、次いで40週が32.56%でした（図1）。前期破水は、初産婦17.7%、経産婦9.1%でした。分娩時の出血量の平均は初産婦373ml、経産婦350mlでした。分娩時の出血量が500ml以上であったのは、初産婦21.1%、経産婦17.7%でした。会陰裂傷は初産婦で、なし40.6%、経産婦で、なし67.2%でし

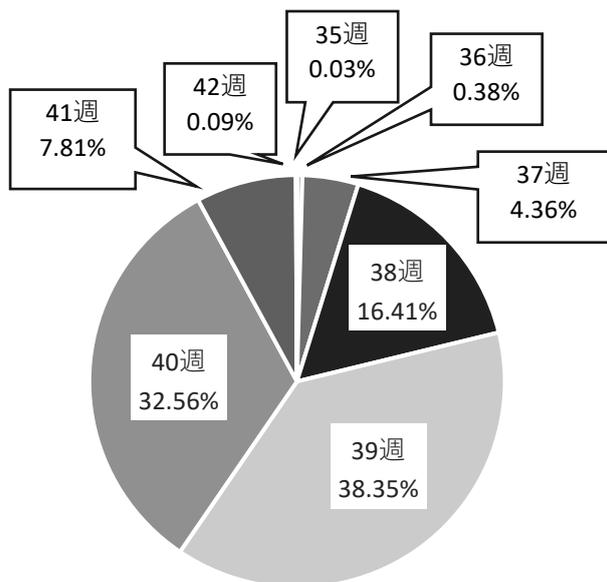


図1 分娩時の妊娠週数

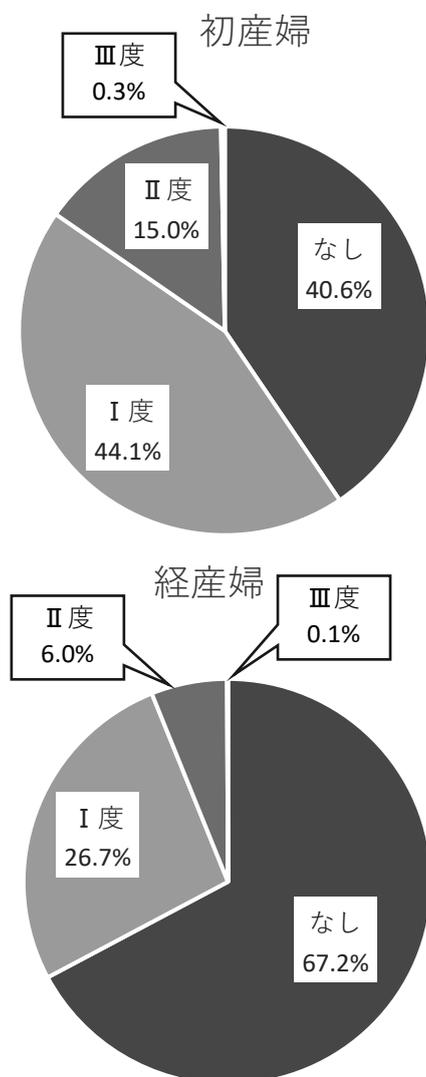


図2 会陰裂傷

た(図2)。分娩時の立ち会い(複数回答)は全体で86.7%あり、内訳はパートナーが一番多く、次いで

上の子、その他となっていました。

4. 新生児について

体重の平均は男児3,174g(±354)、女児3,101g(±330)でした。出生5分後のアプガールスコアは、8点以上が99.7%でした。

5. 栄養方法

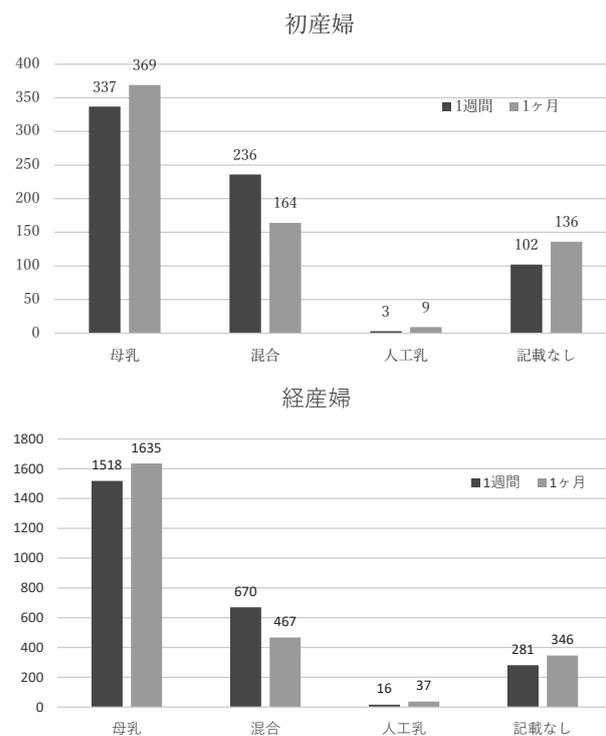
おおむね1週間時点での児の栄養は、初産婦で母乳のみが49.7%、混合34.8%、人工乳0.4%でした。経産婦で母乳のみが61.1%、混合27.0%、人工乳0.6%でした。おおむね1か月健診の時点では、初産婦で母乳のみ54.4%、混合24.2%、人工乳3.2%、経産婦では、母乳のみ65.8%、混合18.8%、人工乳1.5%でした。初産婦・経産婦とも「おおむね1週間」の時点よりも「おおむね1か月」の時点で母乳栄養率が上がっていました(図3)。

IV. まとめ

新ITシステムが稼働し、2回目のご報告になります。昨年より登録データが約200件減少しましたが、有効なデータが13.4%増加し、新システムへの入力のが的確に行われたことが考えられます。

助産所部会の方々には、お忙しいなか、データ入力にご協力いただき感謝いたします。この情報をもって、

図3 児の栄養方法：生後おおよそ1週間と1か月健診時点での比較



助産所の分娩は安全に行っており、かつ母乳育児推進、少子化対策に貢献していると言えるようにしていきたいと思います。今後ともご協力をお願いいたします。集計結果は、ホームページでもご覧いただけます。
(<https://www.midwife.or.jp/midwife/safety.html>)

新システム導入後は、分娩基本データについても

都道府県ごとに所属会員による集積データの活用が可能になりました。ぜひご活用ください。また、日本助産師会からの情報を確実に得ていただくためにも、メールアドレスの変更をマイページよりお願いいたします。